

# 梅 花 流

創立五十周年記念奉讃大会誌



# 未来へのメッセージ

曹洞宗管長 板橋興宗禅師

東京都中野区 ほぜんじ幼稚園園児

皆さんもよくご存じのように、曹洞宗では「人権・平和・環境」をスローガンに世界中に向けた運動を続けています。

今も、世界のあちこちで戦争が繰り返されています。

また、私たちが住んでいる美しい星・地球は、人間が作り出した化学物質などによって、どんどん汚されています。

このままだと世界や地球はどうなるのでしょうか？

今、私の回りに集まっている、この子どもたちをはじめ、世界中の子どもたちのために、私たちは、この地球を守って行かなければなりません。

そのため、私たちの身近なことで、できることから、実行しなくてはなりません。

それは、水道の水や電気を節約したり、ゴミを少なくするなど、毎日の生活の中で努力すればできることです。

あるいは、食べものや薬がなくて苦しんでいる世界各地の人びとに、皆さんの支援の手

を差し伸べることや、戦争を早くやめて平和的に解決するよう呼びかけることも、運動のひとつです。

さらに自分の命が大切なように、他の人の命を大切にし、あらゆる差別をなくすように努力しましょう。

日本の、世界の、地球の未来のためにみんなでこの運動を続けて行きましょう。

ここにいる子どもたちが、皆さんを代表して未来への約束をいたします。

禅師さま「地球はみんなの宝物です」

子どもたち「地球はみんなの宝物です」

禅師さま「世界のみんなと仲良くします」

子どもたち「世界のみんなと仲良くします」

禅師さま「みんなの命を大切にします」

子どもたち「みんなの命を大切にします」

子どもたち「私たちは約束を守ります」

# 梅花流創立50周年 記念奉讃大会誌

～ 伝えよう このよろこびを ～

2002(平成14)年5月22日(水)23日(木)

東京「日本武道館」



曹 洞 宗

# 目次

総裁・名誉総裁ご挨拶	1頁
大会長ご挨拶	2頁
オープニング	3頁
祝典ファンファーレ・開会宣言	4頁
参加各宗務所代表入場	5頁
記念奉讃御和讃合唱	6頁
相見の拝	7頁
第一部法  要	8頁
散華の舞・献灯献華	9頁
大会記念法要	10頁
高祖道元禪師七百五十回大遠忌法要	11頁
お誓い	12頁
お誓い	13頁
ご垂示	14頁
第二部記念式典	15頁
大会長式辞	16頁
表彰式	17頁
第三部奉祝登壇奉詠	18頁
師範記念登壇	19頁
第四部閉会式	30頁
閉会の言葉	31頁
フィナーレ	32頁
ステージドリル	33頁
参加各宗務所代表・大会役員入場	34頁
未来へのメッセージ	35頁
記念奉讃御和讃大合唱	36頁
スナッフ	37頁
梅花流五十年の歩み	38頁
表彰者一覧	39頁
大会配役	40頁



総裁 曹洞宗管長 大本山總持寺貫首

板橋興宗 禅師

梅花流創立五十周年記念奉讃大会の開催、誠におめでたくございます。梅花流を今日のこの隆昌に導かれた多くの先人たちのご努力や皆さまの常日頃からのご精進等により、本日のご好き日を迎えることができましたこと、衷心より敬意を表し、心よりお祝い申し上げます。

こうして高祖道元禅師さま七百五十回大遠忌に逢うことができ、お釈迦さま・道元禅師・瑩山禅師の教えを奉じて、同行同修のお仲間とともに、詠讃歌をお唱えできますことは有り難い極みであります。

仏法を讃美する詠讃歌の旋律とリズムは、自然と身体の中に染み込んで、心を喜ばせ静寂にしてくれます。お寺の法要などで梅花のお唱えが入りますと、とても厳肅な雰囲気になります。皆さまのご健康とさらなるご精進を心よりお祈りいたします。

一九五二（昭和二十七年）年、高祖道元禅師七百回大遠忌に発足をみました梅花流も、五十年の星霜を経て、我が宗門教化の大きな流れとなりました。

発足当初、ご苦労された先徳諸師の思いは「梅は霜雪を経て開く」が如き昨今の隆昌に一人の<sup>おしこひ</sup>ことと存じます。高祖さまは「仏教」という教えを実行する「仏道」として伝えられました。梅花流詠讃歌もまた「詠道」という「仏道」の一翼に他なりません。特に本年は高祖さまの七百五十回大遠忌をお迎えます。「打成一片<sup>たいちゅういっぺん</sup>」というお示しのお言葉がございます。物事を二つに分けることを迷いと申します。正しい信仰に迷うことなくご精進下さいますよつ心から願うものであります。



名誉総裁 大本山永平寺貫首

宮崎突保 禅師

## 明日に向かって大きな華を！

宗務総長 大竹明彦

皆様、おめでとございます。梅花流はここに創立五十周年を迎えました。

ときあたかも宗門は高祖道元禅師さまの七百五十回大遠忌のご正当にあたり、ご本山はじめ全国津々浦々にて報恩の行持が奉修されている今日、緑なす青葉若葉にかこまれたご武道館において、曹洞宗管長・大本山總持寺貫首板橋興宗猊下、大本山永平寺貫首宮崎奕保猊下をお迎えし、記念式典と大遠忌の法要をお勤めする好縁を得ましたことは、何よりの法幸とご一同さまと共に喜びたいと存じます。

同時に創立以来、幾多の困難を乗り越えられて今日の基を築かれた多くの皆様方に、深い敬意を捧げ、そのご努力を高く顕彰するものであります。昭和二十年代後半、いまだ人々の心は安定を欠き、生活物資は不足して全国的に不安の充ち満ちる中で、音律による布教を目指して創立された梅花流は、まさしく安らぎの場を与え、生きる力を与えてくれました。しかのみならず、お釈迦さま道元禅師、瑩山禅師の教えとご生涯などをわかりやすく詠み込んだ歌詞は、宗門布教の大きな力となりましたのであります。

今日、宗門寺院のあらゆる法要儀式の場で真心こめてお唱えされる梅花流詠讃歌は、檀信徒をはじめ、多くの人々に深い感動を与え、大きな力を発揮しています。

しかしながら、わが梅花流の当面する課題は最近ことに痛切な重さを有していることをも確認しなければなりません。全国的な高齢化と少子化の時代を迎え、いかにして梅花の大輪の華をさらに咲かせることができるか、私たち一人一人の課題として取り組みを強め、推し進めねばならない時期であります。

このたび発表しました歌詞改訂は、梅花流百年、二百年の未来のための措置であります。永年慣れ親しんだ歌詞にはそれぞれに深い思いもありましようが、少しでも一仏両祖の教えに忠実に生きるための改訂であることをご理解いただき、一層のご精進をお願いするものであります。

梅花流は、五十周年を大きな飛躍のための跳躍台として、詠道布教にさらなる努力と新たな展開が求められていることを肝に銘じ、堅い決意のもと、明日に向かってまいりたいと存じます。

本大会のためにご協力をいただいた皆様に感謝申し上げます、ご挨拶といたします。







オープニング

## 祝典ファンファーレ・開会宣言




黒柳祖道伝道部長による開会宣言

駒澤大学吹奏楽部、駒沢学園女子中学・高等学校、世田谷学園中学・高等学校、  
鶴見女子中学・高等学校の吹奏楽団による祝典ファンファーレ「歓喜」



# 参加各宗務所代表入場

オープニング 

5月22日

北海道第1宗務所  
北海道第2宗務所  
北海道第3宗務所  
青森県宗務所  
宮城県宗務所  
秋田県宗務所  
山形県第1宗務所  
山形県第2宗務所  
茨城県宗務所  
栃木県宗務所  
埼玉県第2宗務所  
千葉県宗務所  
東京都宗務所  
新潟県第1宗務所  
新潟県第3宗務所  
富山県宗務所  
山梨県宗務所  
長野県第1宗務所  
岐阜県宗務所  
静岡県第1宗務所A  
静岡県第2宗務所  
愛知県第3宗務所  
三重県第1宗務所  
三重県第2宗務所  
京都府宗務所  
大阪府宗務所  
鳥取県宗務所  
岡山県宗務所  
広島県宗務所  
山口県宗務所  
福岡県宗務所  
長崎県第1宗務所  
長崎県第3宗務所  
熊本県第1宗務所  
熊本県第2宗務所  
宮崎県宗務所  
鹿児島県・沖縄県宗務所

全国の宗務所代表の皆さんが  
プラカード、仏旗を掲げ登壇。





参加各宗務所代表入場

5月23日

岩手県宗務所  
山形県第3宗務所  
福島県宗務所  
群馬県宗務所  
埼玉県第1宗務所  
神奈川県第1宗務所  
神奈川県第2宗務所  
新潟県第2宗務所  
新潟県第4宗務所  
石川県宗務所  
福井県宗務所  
長野県第2宗務所  
静岡県第1宗務所B  
静岡県第3宗務所  
静岡県第4宗務所  
愛知県第1宗務所  
愛知県第2宗務所  
滋賀県宗務所  
兵庫県第1宗務所  
兵庫県第2宗務所  
奈良県宗務所  
和歌山県宗務所  
島根県第1宗務所  
島根県第2宗務所  
徳島県宗務所  
高知県・香川県宗務所  
愛媛県宗務所  
佐賀県宗務所  
大分県宗務所



# 梅花流創立五十周年 記念奉讃御和讃

## 記念奉讃御和讃合唱

法悦に湧ちて  
 一はるにさきがけ さくうめを  
 二ながきさかえを いのりては

一はるにさきがけ そのままと  
 ほとけのおしえ ばいかりゆうー

うーたいきたりて ひびくなか  
 かーねもすずやか

一はるにさきがけ 咲く梅を  
 二永き栄えを 祈りては  
 三帰の心 深まりぬ



一、早春にさきがけ 咲く梅を  
 佛のおしえ そのままと  
 詠いきたりて 五十年  
 今日を迎えし うれしさよ  
 二、永き栄えを 祈りては  
 唱えまつりし 梅花流  
 かね 鈴鉦もすずやか ひびくなか  
 三、帰の心 深まりぬ

作詞者の伊藤定子さん



梅花流創立五十周年記念奉讃御和讃は、「同行御和讃」のメモディーに乗せる歌詞を募集し、宮城県栗原郡志波姫町・長興寺講の伊藤定子さんの作品が選ばれました。また、佳作は次の方々です。

- 長崎県護国寺講・中村朝子
  - 栃木県光性寺講・平塚泰延
  - 静岡県法幢寺講・秋田新隆・多津子
  - 兵庫県永泰寺講・荒山他美子
  - 岩手県大林寺講・斉藤弘顕
  - 静岡県東雲寺講・山本浩雄
- (敬称略)



合唱には、駒沢学園女子中学・高等学校、世田谷学園中学、世田谷学園PTA三心会有志トロワクール、鶴見女子中学・高等学校の皆さんもご参加下さいました。



オープニング

# 相見の拝



曹洞宗管長・大本山總持寺貫首・板橋興宗禪師様、  
大本山永平寺貫首・宮崎奕保禪師様との相見の拝




鐘の音に合わせて合掌三拝





# 散華の舞・献灯献華

第一部 法要 

鶴見女子中学・高等学校洋舞部の皆さんによる「散華の舞」と同校代表者による「献灯献華」



宮崎禅師様ご入堂



板橋禅師様ご入堂



詠讚歌を奉じ仏恩に酬ゆ  
誓願に帰依し心魂を洗う  
五句共に祝す梅花の調べ  
道韻風に和し洞門を興す  
恭しく惟れば本月此日  
梅花流創立五十周年  
記念奉讚大会の令辰  
十方の講衆共に相集い  
詠讚歌を奉詠す集る所の殊勲は  
大恩教主本師釈迦牟尼仏  
高祖承陽大師  
太祖常済大師に報答し奉る  
正当即今詠禅一味の端的  
如何が言詮に亘らん  
人天呼び醒す仏心の曲  
功德燦然 本源に到る

大会記念法要



物故者追悼法要



### 物故者追悼法要香語

心華開発して遺芳を放つ

唱詠交りを結び情転た長し

天外遙に聞く吟夢の裡

慈悲感応す白雲の郷

恭しく惟れば

梅花流創立五十周年記念大会の令辰

謹んで梅花流功労物故者

梅花講議員物故者

各各諸精霊等に回向す

正与麼の時 莊嚴報地応供の一著

如何が宣揚せん

嗚

音声の供養塵垢を洗い

清韻伝え来て十方に遍し



# 高祖道元禪師七百五十回大遠忌法要



(五月二十二日)

七百五十回高祖忌

梅花道詠報恩の筵

諸尊感応降臨の処

韻韻たる朗聲衆縁に融ず

恭しく惟れば

梅花流全国大会 報恩の辰に相い値う

正当恁麼時

無極の慈恩に酬ゆるの一著

如何んが布宣せん

嗟

正法現成何を以てか証せん

花紅柳緑転輪円かなり

高祖大師哀愍慈悲容納

(五月二十三日)

高祖照鑑詠道の筵

満堂の朗韻春天に響く

迎え来る七百五十忌

贏<sup>か</sup>ち得たり報恩謝徳の縁

恭しく惟れば

高祖承陽大師七百回忌記念創設の梅花流

今年五十周年奉讃全国大会の辰に相い値う

時恰もこれ

高祖承陽大師七百五十回忌辰に相い値う

正当恁麼時報恩底の一著

如何んが布宣せん

嗟

紫落紅飛春老いとする処

薫風市地讃歌円かなり

高祖大師哀愍慈悲容納



わが身をば  
ほとけ  
仏祖の家に  
なげいれて  
ひねもす行かん  
慕古の道こそ



大本山總持寺・寺倉維那

お誓い

5月23日



私達は梅花流詠讃歌を通して  
正しい信仰に生きます  
私達は梅花流詠讃歌を通して  
仲よい生活をいたします  
私達は梅花流詠讃歌を通して  
明るい世の中をつくります

◀親子二代の拳唱司によるお誓い▶

5月22日



◀塩谷・鈴木詠讃師▶



◀小野田・阿部詠讃師▶



司会の平川、須戸両師範



## ご垂示



## 管長猥下ご垂示

板橋興宗禅師

本年は、大本山永平寺において道元禅師さまの七百五十回忌の大法要が行われております。この記念すべきときに、梅花流創立五十周年記念奉讃大会が催されます。しかも永平寺から百二歳の禅師さまがお出でになられまして法要をお勤めになられます。このような感激があるでしょうか。

御詠歌は、日本人の心だと私は思っております。今朝ほどから、さまざまな御詠歌の奉詠を聞いておりますと、自然に心が静まり、目頭が熱くなりまして。

現代文明は、いわゆる物質文明といわれます。身体と神経を刺激するところに人は集まってまいります。馬鹿騒ぎと馬鹿笑いはいちいれど、心にはほ笑む人は少なくなっております。これは文明の危機であります。このようなきに、御詠歌は我々に潤いを与えます。

もはや宗門の葬儀も、葬祭業者の主導するところとなっております。ある意味で転換期であります。

昨日来、この記念大会を私は身体で感じております。曹洞宗の変革の起爆剤は御詠歌の皆さんにあると思えました。どうぞ期待を裏切らないでください。宗門の当局者もますます御詠歌を広げ、宗門の新たなる活力を見せていただきたいと思います。

それから皆さんにひとつのお話をいたします。御詠歌は、自分で仕事をしているとき、お勝手に葉を切っているとき、田んぼで草をとっているとき、ご商売しているとき、自然に御詠歌の一句なりとも口ずさむ、心から湧き出る。心に浮かんでくる。御詠歌にとって、これは大事なことです。

私は、それを道元禅師の只管打坐と同じと思っています。「只管」とは「ただ」ということです。何気なくそこに没入する。何気なく御詠歌の一節を口ずさむ。これが只管打坐なのです。瑩山禅師の平常心もそこにあります。

単に上手にやるとか、やらないとかの問題、それも大事ではありますが、御詠歌により、心や魂を養うこと、それが仏道です。

この大会にあたりまして、今までとは違ったさまざまな新しい催しがなされております。宗務当局の関係者、学校、宗門全体を挙げての、宗門の大行事であります。最後までこの大会にご参加いただきたいと思います。

ご静聴ありがとうございました。

大会長式辞



式辞（一揆抄）の本文は2頁に掲載



慶祝御和讃奉詠



# 表彰式

5月22日



宗務庁推挙の表彰者代表

講長推挙の表彰者代表と指定店会の代表



宗務所長推挙の表彰者代表





表彰式

5月23日



宗務庁推挙の表彰者代表

講長推挙の表彰者代表



宗務所長推挙の表彰者代表



奉祝登壇第一組

第三部 奉祝登壇奉詠



5月22日



奉詠曲目

修証義御和讃

一九五二(昭和27)年発表



東京都、埼玉県第二、  
栃木県、茨城県

奉祝登壇第一組

5月23日



修証義御詠歌(伝心)  
一九九(平成2)年  
「修証義」公布百周年  
記念大会発表

神奈川県第一・第二



# 奉祝登壇第二組

第三部 奉祝登壇奉詠



5月22日



## 奉詠曲目

追善供養御和讃

一九六（昭和35）年発表



京都府、大阪府、岡山県、広島県、  
山口県、鳥取県、福岡県、  
長崎県第一・第三、  
熊本県第一・第二、宮崎県、  
鹿児島県・沖縄県





奉祝登壇第二組

5月23日



追善供養御詠歌(妙鐘)  
一九六二(昭和36)年  
創立10周年大会発表

滋賀県、奈良県、和歌山県、兵庫県第一・第二、  
島根県第一・第二、徳島県、高知県・香川県、  
愛媛県、大分県、佐賀県



奉祝登壇第三組

第三部 奉祝登壇奉詠



5月22日



彼岸御和讃  
奉詠曲目



長野県第一、富山県、新潟県第一・第三、  
北海道第一・第二・第三







奉祝登壇第三組

5月23日



彼岸御詠歌(香華)  
一九六七(昭和42)年  
創立15周年大会発表

埼玉県第一、群馬県、愛知県第一・第二





5月22日



# 奉詠曲目

開山忌御和讃

一九八（昭和55）年

永平寺二祖懷辨禪師

七百回大遠忌奉讃法要併修

大会発表



宮城県、青森県、山形県第一・第二、秋田県





奉祝登壇第四組

5月23日



静岡県第一B・第三・第四

開山忌御詠歌(真清水)  
一九八二(昭和57)年  
創立30周年大会発表



奉祝登壇第五組

第三部 奉祝登壇奉詠



5月22日



報恩供養御和讃

奉詠曲目



千葉県、山梨県、岐阜県、  
三重県第一・第二





奉祝登壇第五組

5月23日



長野県第二、福井県、石川県、  
新潟県第二・第四

報恩供養御詠歌(澄心)  
一九八七(昭和62)年  
創立35周年大会発表



奉祝登壇第六組

第三部 奉祝登壇奉詠



5月22日



正行御和讃

奉詠曲目

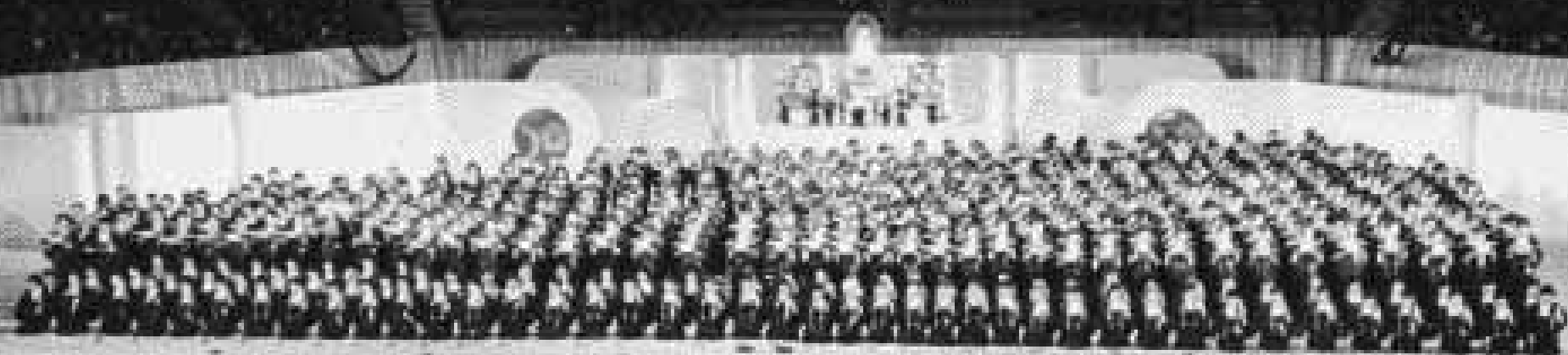


静岡県第一A・第二、愛知県第三



奉祝登壇第六組

5月23日



福島県、岩手県、山形県第三

正行御詠歌(道環)  
一九九七(平成9)年  
創立45周年大会発表





審議会委員、検定委員、専門委員、特派師範、研修員の  
総勢百余名による師範登壇

高祖承陽大師道元禅師修行御和讃（菩提）  
太祖常濟大師瑩山禅師修行御和讃（菩提）



## 閉会の言葉

伝道部長 黒柳祖道

本日は、梅花流創立五十周年記念奉讃大会を開催いたしましたところ、全国各地から大勢の皆さまにご参加いただき、誠に有り難うございました。



関係各位

のお力添えによりまして、無事、盛会のうちに、閉会式を迎えることができました。

加下さった講員の皆さま、師範、詠範の皆さま、大会役員としてご負担下さった東京、神奈川第一、埼玉第一の各宗務所の皆さまはじめ宗門の各機関、関係各位の深いご理解と格別の「尽力の賜である」と、心から感謝いたしております。本当に有り難うございました。

思い返しますと五十年前の日本は、まだまだ食料事情等もたいへん厳しい時代でした。あの時代、「もったいない」とか「ありがたい」という意識や、生きていることを実感する気持ちは、現在の私たちよりも強くあったような感じもいたします。

そういう中で、お唱えを通して信仰することの喜びを、深く、大きく感じて、自ら詠道に精進し、梅花の輪を拡げてまいりました。

五十周年を迎えた今日、飽食の時代、グルメタイムなどと言われる豊かさの反面、人の心が失われたかの如き事柄が数々報せられ、潤いのない社会になって行くことを憂うる声を多く聞きますが、こういう時代だからこそ尚更、梅花流の原点を改めて見つめ、同行同修の喜びを多くの方々にお伝えしようではありませんか。「伝えよう このよるこびを」です。


来年は、世界遺産に指定された大いなる原生林・白神山地にほど近い、秋田県「大館樹海ドーム」において、平成十五年度梅花流全国奉詠大会を開催させていただく予定でございます。大勢の皆さまのご参加をお願いし、再びお会いできますことを楽しみに、本日はこれにてお開きとさせていただきます。

皆さまのご健康とますますのご精進、お帰りの道中安全を祈念いたしまして閉会のご挨拶いたします。有り難うございました。





ステージドリル

フィナーレ 



駒澤大学吹奏楽部によるステージドリル



参加各宗務所代表・大会役員入場





未来へのメッセージ

フィナーレ



5月22日

未来へのメッセージ

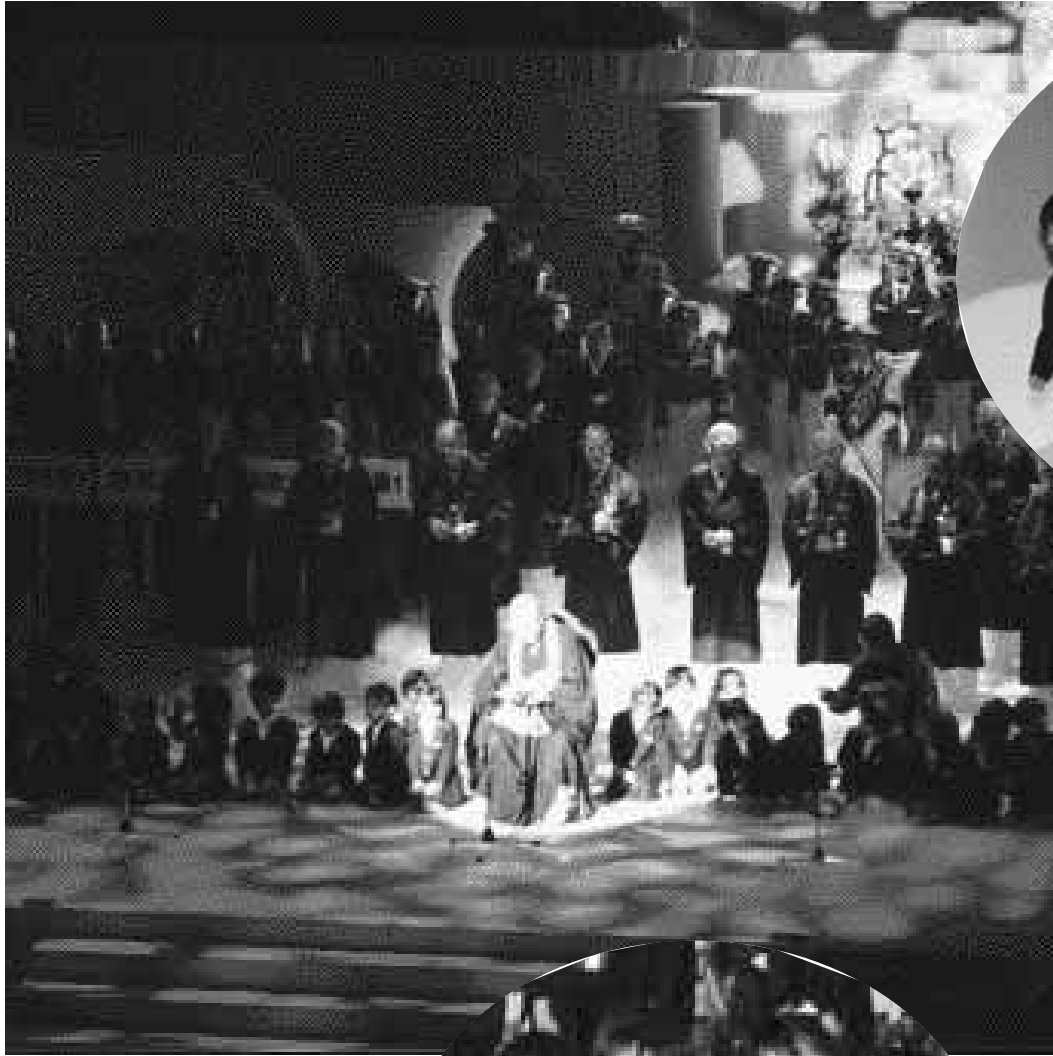
(メッセージ全文は表紙裏に掲載)

曹洞宗管長 板橋興宗禅師  
東京都中野区 ほせんじ幼稚園園児



未来へのメッセージ

5月23日



禅師さま「地球はみんなの宝物です」

子どもたち「地球はみんなの宝物です」

禅師さま「世界のみならず仲良くします」

子どもたち「世界のみならず仲良くします」

禅師さま「みんなの命を大切にします」

子どもたち「みんなの命を大切にします」

子どもたち「私たちは約束を守ります」

記念奉讃御和讃大合唱

フィナーレ





田安門からも多くの方が来場されました。



今年も笑顔でお会いできました。



バスを降りて並んで武道館へ。



いよいよ会場に到着です。



受付スタッフ



同じお花を付けてきました。

◀まず、記念撮影をしましょ。



早速、奉讃御和讃を練習してみましょ。



やっぱり、お買い物は楽しみの一つ。



こっちのバックも素敵だわ~。



うまくお唱えできるかしら。



記念撮影が終わったらいよいよ入口へ。



ガイドさんに案内してもらってます。

◀ 岩手県のみなさん、入口はこちらですよ~。





禅師さまに合わせて三拝いたします。



一緒にお唱えいたします。



会場の席も随分埋まってきました。



お揃いのバンダナをつけてきました。



役員のみなさんも笑顔でお出迎え。



開会の前に舞台を背にして記念撮影。

いよいよ開会です。



登壇するまでの時間は長く感じられます。



禅師さまと記念撮影。



登壇前の緊張の一瞬。でも笑顔がこぼれます。



お唱えを終えても、まだ緊張の糸が張っています。



奉祝登壇奉詠を客席でお聴きになれる両禅師様。



無事にお唱えを終え、笑顔でインタビューに応える。

◀ 代表登壇の奉詠が気になります。



他流派の来賓の方々がお越し下さいました。



募金を呼びかける森総務部長。



募金はボランティア活動などに役立てます。



師範記念登壇の奉詠には聞き入ってしまいます。



代表登壇と一緒に客席でお唱えします。

◀ すばらしい奉詠に拍手喝采。

お元気でネー！



皆さんが退場されるまでお見送ります。



気をつけてお帰り下さい。



さあ、お土産を持って帰ります。



すばらしいひとときをありがとう。



また、来年も会いましょう。



整列をして人数の確認。



黒柳伝道部長も最後までお見送り。





## 梅花流五十年の歩み

# 梅花流五十年の歩み

15周年  
一九六七(昭和42)年4月18・19日  
大本山永平寺で行われた15周年記念奉讃大会には、三千名の参加がありました。「お誓い」も15周年を記念し、制定されました。15年目を迎える頃には五万余千人の講員を擁するようになりました。

右手に一枝の梅花をかざされた熊沢禅師様を囲んで。



梅花流創立15周年記念奉讃大会



登壇奉詠

### 草創期

1951(昭和26)年に詠讃歌研究委員会が発足、作詞、作符(符付け)がなされ、同年12月に宗門の詠讃歌が承認決定されるとともに「梅花流」の名が決定されました。

1952年1月に梅花流詠讃歌の第一回講習会が開催され、4月の大本山永平寺における道元禅師700回大遠忌法要で、梅花流詠讃歌が披露されました。



1952年1月23日に行われた曹洞宗梅花流詠歌和讃講習会  
会場：大本山永平寺別院長谷寺

### 開式の辞



10周年  
1961(昭和36)年4月4日  
東京文京公会堂に於いて10周年記念全国奉詠大会が行われました。

まわり舞台での登壇奉詠



入場風景



半杓橋付近に設けられた歓迎アーチ





▲ 秦 慧玉禪師



▲ 式辞

20周年

一九七二(昭和47)年 4月10日  
梅花流創立20周年記念奉誦大会は、初めて日本武道館を会場にして開催された大規模な大会。全国からご参加の一万五千五百名の皆さんで会場は文字通り溢れんばかりの盛況でした。



▶ 登壇奉詠



25周年  
一九七七(昭和52)年 5月25日  
梅花創立より25年、梅花四半世紀を飾る大会が行われました。全国より一万六千余名の参加を得て日本武道館は熱気と興奮に包まれました。



▲ 登壇奉詠

慶祝御和讃の奉詠





# 梅花流五十年の歩み

## 記念法要



乙川瑾映禅師

35周年  
一九八七（昭和62）年 5月26～28日  
三日間にわたって開催された35周年  
記念奉讃大会には、全国各地はもと  
より、遠くハワイやロサンゼルスから  
も多数の方々のご出席をいただきました。

3日間で3万4千名の参加。



二千五百にのぼる講旗の入場



梅田信隆禅師

## 追悼法要



30周年  
一九八二（昭和57）年 5月25・26日  
創立30周年を迎えた梅花流は、全国に五千余の講が設置さ  
れ、十五万余の講員を擁するようになりました。日本武  
道館に二日間で三万余名の方々が集まりました。



宮崎奕保禪師(右)と成田芳髓禪師(左)



40周年  
一九九二(平成4)年 5月26・27日  
横浜アリーナにて開催された40周年記念奉讃大会。中国天童寺からのご来賓もお迎えしました。



登壇奉詠

45周年

1997(平成9)年 5月20・21日

梅花流創設45周年記念奉讃大会は、日本武道館を会場に開催。地球環境の保全を願って「緑はいのち」を实践するため、新曲「正行」「道環」を発表、献詠しました。



献華



登壇奉詠

ご挨拶される丹羽廉芳禪師  
写真左端、梅田信隆禪師



記念式典

# 梅花流創立五十周年記念奉讃大会 表彰者

## 宗務庁推挙

### 特別功労賞

#### 功労者

大島 賢龍 正伝師範  
齋藤 典由 正伝師範

静岡県一  
宮城県

常安寺  
玉泉寺

小川 迪雄 一級師範  
金子 世児 一級師範

神奈川県一  
佐賀県

高長寺  
普恩寺

#### 作詞・作曲

宮川 敬學 一級師範

鳥取県

天徳寺

#### 宗務所長

東京都

大島 康雄

大阪府

八木 道雄

宮城県

大村 快雄

神奈川県一

鳥澤 俊寛

奈良県

土谷 良江

鹿児島県・沖縄県

飯尾 寛治

神奈川県二

市川 智彬

和歌山県

酒井 秀瑞

長野県一

片山 厚生

埼玉県一

保坂 浩哉

兵庫県一

志保見文彦

長野県二

茅野 幸隆

埼玉県二

梅澤 正壽

兵庫県二

齊藤 覚峰

福井県

松原 道一

群馬県

堪山 泰学

岡山県

樋口 成徳

石川県

片山 昌之

栃木県

板場 雍昌

広島県

鈴木 章純

富山県

舘 定道

茨城県

吉川 文隆

山口県

南 正道

新潟県一

桑原 大宗

千葉県

松井 道孝

鳥取県

倉瀧 眞清

新潟県二

佐々木晴彦

山梨県

池谷 實文

鳥根県一

川瀬 信夫

新潟県三

牧 禅一

静岡県一

柴田 尚明

鳥根県二

佐瀬 道淳

新潟県四

永島 玄隆

静岡県二

澤城 勲生

徳島県

矢野 通玄

福島県

中野 重孝

静岡県三

水野 格正

高知県・香川県

楠本 覺成

宮城県

白石 浩哉

静岡県四

嶋田 吉春

愛媛県

宇野 尚英

岩手県

稲田 泰山

愛知県一

加藤 良俊

福岡県

谷山 洪寧

青森県

工藤 忠宏

愛知県二

鈴木 正道

大分県

好野 源宗

山形県一

鈴木 幸雄

愛知県三

日比 徳明

長崎県一

村田 和元

山形県二

菊池 伸之

岐阜県

三塚 大法

長崎県二

米田 明敏

山形県三

百瀬 大豊

三重県一

大角 哲哉

長崎県三

目良 和夫

秋田県

亀谷 健樹

三重県二

榊本 哲應

佐賀県

竹内 智學

北海道一

池田 正弘

滋賀県

北野 良昭

熊本県一

紫安 達純

北海道二

押見 正宏

京都府

村上 俊鳳

熊本県二

永田 耕稔

北海道三

西嶋 久元

製作・販売

成田 良元 キングレコード  
 現・シーアールエス企画  
 東京都 横山幸吉商店  
 栃木県 観音堂トキタ仏具店  
 山梨県 株 長谷川法衣仏具店  
 静岡県 有 深谷仏具店  
 京都府 株 安藤  
 京都府 株 松本屋  
 京都府 株 細野福蔵商店  
 京都府 株 谷口法衣仏具店

京都府 京都府  
 京都府 京都府  
 愛知県 愛知県  
 愛知県 愛知県  
 鳥取県 有 吉田法衣店  
 福岡県 株 梅金商店  
 福岡県 株 藤田佛具本店  
 福岡県 株 梅谷仏具店  
 佐賀県 株 上田神仏堂  
 佐賀県 村山大佛堂

美濃角法衣株  
 株 石川法衣店  
 有 木崎勉法衣仏具店  
 株 駒屋丸重法衣店  
 株 梅谷商店  
 有 藤田佛具本店  
 株 梅谷仏具店  
 株 上田神仏堂  
 村山大佛堂

新潟県 新潟県  
 宮城県 宮城県  
 山形県 有 戸村法衣仏具店  
 山形県 有 児玉佛具店  
 山形県 株 小嶋源五郎本店  
 京都府 株 作島製作所  
 京都府 加地織物株  
 東京都 上田嘉一郎商店

師範表彰

岡田 達夫 一級師範 静岡県一 光明寺  
 安田 光彰 一級師範 静岡県一 然正院  
 加藤 秀宣 一級師範 静岡県一 観音寺  
 早瀬 明順 一級師範 滋賀県 持明寺  
 山内 博道 二級師範 広島県 光福寺

久世 和久 一級師範 佐賀県  
 原田 道俊 一級師範 熊本県二  
 山田 賢隆 一級師範 新潟県一  
 須戸 秀圓 一級師範 新潟県四  
 葛西 修哉 一級師範 岩手県  
 岩手県 安養寺

東遠寺  
 明栄寺  
 全久院  
 地藏院  
 安養寺

鈴木 文夫 一級師範 山形県二  
 小野田秀貴 一級師範 山形県三  
 藤原 知雄 一級師範 山形県三  
 柴田 弘一 一級師範 秋田県  
 秋田県 東泉寺

詠範表彰

榎木千枝子 正流詠範 東京都 東雲寺  
 鳥澤由紀子 正流詠範 神奈川県一 米倉寺  
 横山志げ子 一級詠範 神奈川県一 西有寺  
 福田 久枝 正流詠範 神奈川県一 玄珊寺  
 和田千代子 一級詠範 神奈川県一 広沢寺  
 篠原 規子 一級詠範 群馬県 法長寺  
 荒井 澄恵 正流詠範 山梨県 法久寺  
 桑原 伸子 正流詠範 静岡県一 宝持院  
 三浦ひろ子 一級詠範 静岡県一 中正寺  
 北上ひさよ 一級詠範 静岡県一 江月院  
 大塚 千晴 一級詠範 静岡県二 永竜寺  
 大西 敦子 正流詠範 岐阜県 円城寺  
 福島 玉 一級詠範 三重県一 西光寺  
 宮前 巽 二級詠範 滋賀県 覚伝寺  
 山根 幸子 一級詠範 京都府 香林寺  
 丸山 文子 正流詠範 奈良県 慶田寺  
 吉川美也子 二級詠範 和歌山県 法輪寺  
 紫安 文字 一級詠範 兵庫県一 安養寺  
 宮長 康子 一級詠範 兵庫県一 少林寺  
 田中 絹子 一級詠範 兵庫県二 自性院  
 早川 直美 一級詠範 岡山県 千光寺

山根 正子 一級詠範 鳥取県 景福寺  
 中川 明子 一級詠範 鳥取県 宝泉寺  
 伊東美智子 一級詠範 鳥根県一 法眼寺  
 宮崎 光子 二級詠範 愛媛県 宝珠寺  
 三好 福恵 正流詠範 福岡県 西蓮寺  
 茨木 紘 一級詠範 長崎県一 瑞光寺  
 広滝カツ子 正流詠範 佐賀県 臨滄庵  
 三浦マツ工 一級詠範 佐賀県 法泉寺  
 宗 てる子 一級詠範 佐賀県 法泉寺  
 高岸 サイ 一級詠範 長野県一 陽興寺  
 五十嵐しげる 一級詠範 長野県一 洞岩寺  
 久我 京子 一級詠範 福井県 永建寺  
 永井 和子 一級詠範 新潟県一 朝日寺  
 保坂 フミ 一級詠範 新潟県三 久昌寺  
 酒井 フチ 一級詠範 新潟県四 光宮寺  
 金平 寿子 一級詠範 福島県 金剛院  
 西川 寿子 一級詠範 福島県 長泉寺  
 庄司ミサコ 一級詠範 宮城県 滝沢寺  
 清野千代子 正流詠範 宮城県 滝沢寺  
 坊澤サイ子 一級詠範 宮城県 竜洞院  
 中野 成子 一級詠範 岩手県 蟠龍寺

苦米地静江 一級詠範 青森県 金剛寺  
 葦原 千代 一級詠範 山形県一 長源寺  
 三吉 勝子 一級詠範 山形県一 安国寺  
 武田 とし 一級詠範 山形県一 正福寺  
 飯田マサノ 一級詠範 山形県一 今町寺  
 布川 ちう 一級詠範 山形県一 永昌寺  
 加々美ユウ 一級詠範 山形県一 林昌院  
 伊藤満里子 一級詠範 山形県二 龍雲院  
 斎藤きよし 一級詠範 山形県三 高禅寺  
 上野 和子 一級詠範 山形県三 東福寺  
 阿部真智子 一級詠範 山形県三 乘慶寺  
 鈴木 梅子 一級詠範 山形県三 青陽院  
 富山 敏子 一級詠範 山形県三 円通寺  
 岡田 富照 一級詠範 山形県三 永蓮寺  
 野村 正子 一級詠範 山形県三 東光寺  
 庭野 玉江 一級詠範 山形県三 円通寺  
 宮田ヨシミ 一級詠範 北海道一 豊電寺  
 梅田 正子 二級詠範 北海道二 永昌寺  
 竹田 弘子 正流詠範 北海道三 大徳寺



教範表彰

角谷 梅	二級教範	東京都	観音庵	山田 光園	二級教範	愛知県三	弥勒寺	和田 克子	一級教範	京都府	常楽寺
杉井 和子	二級教範	東京都	東雲寺	中野 照子	二級教範	愛知県三	永昌寺	倉田 富貴	二級教範	奈良県	慶田寺
広瀬 貢子	二級教範	東京都	東雲寺	栗谷本ぎん	正詠教範	岐阜県	東円寺	井谷 トシ	二級教範	奈良県	普門寺
廣瀬 秀子	二級教範	東京都	祥雲寺	浜崎 祐子	一級教範	三重県一	金剛寺	島 美智代	二級教範	奈良県	普門寺
市川 敦子	二級教範	東京都	祥雲寺	内田みつゑ	二級教範	三重県一	長楽寺	井奥 静子	二級教範	奈良県	普門寺
高橋 幸代	二級教範	東京都	祥雲寺	中川 一子	一級教範	三重県一	正伝寺	南園シズノ	二級教範	奈良県	普門寺
久津間キク乃	一級教範	神奈川県一	高長寺	谷口 瑞子	二級教範	三重県一	昌禅寺	上平恵美子	一級教範	奈良県	滝川寺
高橋 久子	一級教範	神奈川県一	宗昌寺	山際ひろみ	一級教範	三重県一	祥雲寺	池上又三子	一級教範	奈良県	滝川寺
越智 まさ	二級教範	神奈川県一	広沢寺	中村 弥生	一級教範	三重県一	祥雲寺	中岡みね子	一級教範	奈良県	宝泉寺
関本 玲子	二級教範	神奈川県一	広沢寺	榎本 たね	一級教範	三重県一	竜光寺	大谷 喜美	一級教範	奈良県	宝泉寺
大野 廣治	一級教範	埼玉県二	法長寺	須川 桂子	一級教範	三重県一	竜光寺	的場おまさ	二級教範	兵庫県一	昌林寺
小池 述衛	二級教範	群馬県	向雲寺	東 和子	一級教範	三重県一	竜光寺	大崎恵美子	二級教範	兵庫県一	少林寺
長山 かよ	二級教範	茨城県	東持寺	堀口 重美	一級教範	三重県一	竜光寺	田中みさの	一級教範	兵庫県一	少林寺
海野 はつ	正詠教範	静岡県一	然正院	北村 しず	二級教範	滋賀県	持明寺	武田むつみ	一級教範	兵庫県一	少林寺
斉藤シズエ	二級教範	静岡県一	正信院	山口 時子	二級教範	滋賀県	持明寺	田中ちよえ	二級教範	兵庫県一	少林寺
杉山 とみ	二級教範	静岡県一	大慈院	浅井千鶴江	一級教範	滋賀県	地福寺	松尾智恵子	一級教範	兵庫県二	願勝寺
上村 美代	正詠教範	静岡県一	竜雲院	志水 りの	二級教範	滋賀県	地福寺	小林 道江	二級教範	岡山県	西来寺
荒井 とし	一級教範	静岡県一	玉泉寺	中島 良男	一級教範	滋賀県	全長寺	松村富士子	一級教範	広島県	松寿寺
鈴木 珠江	二級教範	静岡県一	宝鏡寺	潮田みさを	二級教範	京都府	南陽寺	懸樋 好子	二級教範	鳥取県	森福寺
二ノ宮み江子	二級教範	静岡県一	定輪寺	川辺八重子	二級教範	京都府	地蔵院	白川 幸子	二級教範	鳥取県	安国寺
笹山なつ江	一級教範	静岡県一	成安寺	太田美穂子	二級教範	京都府	地蔵院	浜田 慶子	一級教範	鳥取県	補岩寺
後藤 幸子	一級教範	静岡県一	成安寺	江本さとえ	二級教範	京都府	地蔵院	木下やつ子	二級教範	鳥取県	大祥寺
鈴木美智子	二級教範	静岡県一	永明寺	太田 秀子	二級教範	京都府	地蔵院	松本 厚子	二級教範	鳥取県	大祥寺
青島 なを	一級教範	静岡県一	光泰寺	藤田さく枝	二級教範	京都府	地蔵院	浜田 京子	一級教範	鳥取県	大祥寺
平野八重子	一級教範	静岡県一	南陽寺	正田あさ子	二級教範	京都府	龍福寺	真庭 愛子	二級教範	鳥取県	西福寺
鈴木すみ江	一級教範	静岡県一	香橋寺	山本 定栄	二級教範	京都府	新宮寺	野村 正代	二級教範	鳥取県	東伝寺
亀山 かつ	二級教範	静岡県一	官養院	新宮 佳子	一級教範	京都府	新宮寺	折坂 春枝	二級教範	鳥取県	松源寺
大石 しん	二級教範	静岡県一	官養院	人西コイ工	二級教範	京都府	新宮寺	荒金 芳江	二級教範	鳥取県	松源寺
漆畑 ゆき	二級教範	静岡県一	円福寺	川口 松枝	一級教範	京都府	新宮寺	景山伊佐夫	一級教範	鳥取県	永昌寺
漆畑 ふみ	二級教範	静岡県一	円福寺	木戸あい子	一級教範	京都府	新宮寺	本田 静江	一級教範	鳥取県	洞光寺
中川 政枝	二級教範	静岡県一	宗清寺	上田 一枝	一級教範	京都府	新宮寺	小倉 博子	一級教範	鳥取県	洞光寺
岩辺 裕子	正詠教範	静岡県一	白泉寺	木戸かね子	一級教範	京都府	新宮寺	金森 久子	一級教範	鳥取県	安養寺
山西 こま	一級教範	静岡県三	三光寺	西垣美千代	一級教範	京都府	不断寺	井上トヨ子	一級教範	愛媛県	香林寺
小玉 はる	一級教範	静岡県三	万福寺	芦田はつみ	一級教範	京都府	円覚寺	竹田てるよ	一級教範	福岡県	金竜寺
藪下 この	一級教範	静岡県三	万福寺	村上のぶ枝	二級教範	京都府	浄泉寺	田尻 かよ	二級教範	福岡県	金竜寺
飯田 知	二級教範	静岡県四	神宮寺	芦田さつき	二級教範	京都府	浄泉寺	二嶋 尚子	二級教範	福岡県	円福寺
渡辺 英子	二級教範	愛知県一	普光寺	梅原きよの	二級教範	京都府	浄泉寺	仲山 栄子	二級教範	福岡県	常楽寺
川口りり子	二級教範	愛知県一	地蔵寺	新庄 芳江	一級教範	京都府	慈音寺	宮崎 久子	一級教範	長崎県一	晴雲寺
近藤登喜子	二級教範	愛知県一	地蔵寺	岡垣やす子	二級教範	京都府	常光寺	中川 智春	一級教範	長崎県一	晴雲寺
牧 範子	二級教範	愛知県一	地蔵寺	河田 政枝	二級教範	京都府	常光寺	湯川八子子	一級教範	長崎県一	正覚寺
山田 一子	二級教範	愛知県一	地蔵寺	守谷登美子	一級教範	京都府	普門寺	小柳テ儿子	二級教範	長崎県一	正覚寺
永田貴美代	一級教範	愛知県三	心月斎	河田 和代	一級教範	京都府	林泉寺	江口又三子	一級教範	長崎県一	西蓮寺

池田 スヨ	一級教範	長崎県一	西蓮寺	工藤 八ツ	二級教範	青森県	長円寺	加藤 公子	一級教範	山形県三	松岩寺
牟田 静江	一級教範	長崎県一	西蓮寺	佐藤 照重	一級教範	青森県	常光寺	本間 晴恵	二級教範	山形県三	多福院
前田 典子	二級教範	長崎県一	慈光寺	佐藤やちゑ	一級教範	青森県	常光寺	庄司 陽子	一級教範	山形県三	多福院
小池千恵子	一級教範	佐賀県	万福寺	山本 ヒサ	一級教範	青森県	常光寺	大井 春子	一級教範	山形県三	多福院
副島 幸枝	一級教範	佐賀県	万福寺	小笠原みつゑ	一級教範	青森県	常光寺	瀬尾 豊女	二級教範	山形県三	多福院
森 重子	一級教範	佐賀県	報恩寺	天内 ツナ	二級教範	青森県	常光寺	伊藤 とし	一級教範	山形県三	青陽院
古川ミエコ	二級教範	佐賀県	直伝寺	原子くにゑ	一級教範	青森県	常光寺	大田 中江	一級教範	山形県三	青陽院
藤本 ユキ	二級教範	福井県	臥竜院	佐藤 いつ	一級教範	青森県	東伝寺	菅原きくの	一級教範	山形県三	青陽院
田辺 トク	二級教範	福井県	満願寺	桜庭 つわ	二級教範	青森県	東伝寺	須藤 良恵	二級教範	山形県三	青陽院
武田きしゑ	二級教範	福井県	久音寺	須藤みつゑ	一級教範	青森県	海昌寺	佐藤千代美	一級教範	山形県三	青陽院
柴田 春子	二級教範	福井県	久音寺	酒田 ハル	二級教範	青森県	常光寺	庄司ふじを	二級教範	山形県三	青陽院
武内すゑ子	一級教範	福井県	瑞伝寺	苫米地ミネ	一級教範	青森県	対泉院	松田 巳江	一級教範	山形県三	海禅寺
出口 良子	二級教範	福井県	瑞伝寺	高崎 むら	一級教範	青森県	常現寺	佐藤さち子	一級教範	山形県三	妙泉寺
宮田 シゲ	二級教範	新潟県三	久昌寺	坂本八重子	一級教範	青森県	浮木寺	高橋 静子	一級教範	山形県三	竜泉寺
小山ミキ子	一級教範	新潟県四	光宮寺	松野 久子	一級教範	山形県一	長源寺	本多 ふみ	一級教範	山形県三	竜泉寺
岩村夕チノ	二級教範	新潟県四	光宮寺	斉藤 久子	一級教範	山形県一	長源寺	今井 俊子	二級教範	山形県三	悦岩寺
相馬 ハマ	二級教範	新潟県四	竜山寺	白田 かよ	二級教範	山形県一	長源寺	遠田喜久子	二級教範	山形県三	長寿寺
佐藤美仁子	二級教範	福島県	常泉寺	川村きよゑ	二級教範	山形県一	永林寺	菅原ふさみ	二級教範	山形県三	長寿寺
青柳 ミノ	一級教範	福島県	常泉寺	黒坂キツヨ	二級教範	山形県一	慈眼寺	五十嵐安子	二級教範	山形県三	長寿寺
菅野 里子	二級教範	福島県	慶徳寺	真田美佐子	正詠教範	山形県一	慈眼寺	丸藤 博子	一級教範	山形県三	正伝寺
新田わくり	二級教範	宮城県	滝沢寺	長澤 みよ	二級教範	山形県一	照明寺	佐藤ふさ子	二級教範	山形県三	宝伝寺
杉村まさ子	一級教範	宮城県	積雲寺	小林おしん	一級教範	山形県三	善宝寺	阿部 律	二級教範	山形県三	宝重寺
矢萩きつ子	二級教範	宮城県	竜川寺	菊池 勝子	二級教範	山形県三	洞泉寺	長沢とく江	一級教範	山形県三	善秀寺
大山ひろえ	二級教範	宮城県	竜川寺	阿部 芳美	一級教範	山形県三	永伝寺	遠田 英	一級教範	山形県三	善心寺
小畑よし子	二級教範	宮城県	東光寺	三浦 徳美	一級教範	山形県三	総穩寺	黒石 妙教	一級教範	秋田県	蒼竜寺
照井 タマ	二級教範	岩手県	蟠龍寺	丸山 敬美	一級教範	山形県三	荒川寺	渡辺 キミ	一級教範	秋田県	蒼竜寺
加藤 ミエ	一級教範	岩手県	蟠龍寺	丸山 敬美	一級教範	山形県三	荒川寺	小玉美佐子	一級教範	秋田県	天昌寺
吉田ナツヨ	二級教範	岩手県	普門寺	長瀬まつ子	一級教範	山形県三	荒川寺	米倉 葉子	一級教範	秋田県	太平寺
小川原テル	一級教範	岩手県	盛岩寺	富樫 久子	一級教範	山形県三	法秀寺	小林 庸子	一級教範	秋田県	仁叟寺
鈴木 ヨネ	二級教範	岩手県	盛岩寺	海藤はつ江	一級教範	山形県三	見竜寺	斉藤 シエ	二級教範	秋田県	吉祥院
曾根サカエ	二級教範	岩手県	盛岩寺	菊地 はる	一級教範	山形県三	見竜寺	小田嶋力子エ	一級教範	秋田県	吉祥院
藤田 トシ	二級教範	岩手県	華嚴院	水尾 光子	二級教範	山形県三	冷岩寺	村岡さと子	二級教範	北海道一	玉峰寺
尾形 タミ	一級教範	岩手県	宝珠院	小林喜美子	二級教範	山形県三	宗伝寺	新野多恵子	一級教範	北海道一	高台寺
横島 義男	正詠教範	岩手県	三光寺	佐藤たまい	正詠教範	山形県三	乗慶寺	坂口トシエ	二級教範	北海道二	妙心寺
北岡 キ又	一級教範	青森県	万蔵寺	佐藤チエミ	一級教範	山形県三	乗慶寺	棟方 キン	二級教範	北海道二	大休寺
蝦名 みつ	一級教範	青森県	万蔵寺	梅木 志げ	二級教範	山形県三	乗慶寺	木村 宮子	一級教範	北海道三	禅徳寺
福士みつえ	一級教範	青森県	万蔵寺	佐藤 正子	一級教範	山形県三	乗慶寺	大田サツキ	二級教範	北海道三	大徳寺
小野 愛子	一級教範	青森県	長徳寺	高橋 清子	正詠教範	山形県三	乗慶寺	藤田 フサ	二級教範	北海道三	大徳寺
千葉 絹江	一級教範	青森県	長徳寺	足達 和	二級教範	山形県三	乗慶寺	坂本トシ子	二級教範	北海道三	大徳寺
相馬 せつ	一級教範	青森県	長徳寺	中野 みち	一級教範	山形県三	宝護寺	狩野 雪子	二級教範	北海道三	正法寺
高橋ミツエ	一級教範	青森県	保福寺	石井 さつ	一級教範	山形県三	宝護寺				
古川 ヤエ	二級教範	青森県	雲祥寺	後藤一二三	二級教範	山形県三	慶全寺				
古川 邦子	二級教範	青森県	雲祥寺	後藤ちやゑ	一級教範	山形県三	慶全寺				
一戸 依子	一級教範	青森県	長円寺	成沢 良子	二級教範	山形県三	慶全寺				

寺院梅花講表彰

講設置以來二十五年以上にわたり講活動を行い、寺院梅花講の模範とすべき講(三四五一講)

宗務所長推挙

師範表彰

東京都	観音庵	笹川	亮宣	群馬県	竜滄院	田川	保雄	静岡県一	成願寺	相原	昇明
東京都	大林院	竹俣	春明	群馬県	大雄院	橋本	恵一	静岡県一	長温寺	小笠原	秀明
東京都	正覚寺	山田	宣宗	群馬県	海雲寺	土屋	裕之	静岡県三	岩昌寺	及川	立禅
東京都	東雲寺	柚木	能宣	栃木県	光性寺	平塚	泰延	静岡県三	三光寺	矢部	磐山
東京都	天寧寺	高木	昭彦	栃木県	豊栖院	飯塚	豊童	静岡県三	万福寺	鬼頭	泰道
東京都	蓮生寺	鬼頭	英彬	栃木県	無量寺	篠崎	栄伯	静岡県三	泰盛寺	正木	良観
神奈川県一	天徳寺	三浦	玄苗	栃木県	竜雲寺	田口	正延	静岡県三	極楽寺	植村	徳源
神奈川県一	泉秋寺	鳥澤	俊寛	千葉県	高德寺	松本	俊雄	静岡県三	東林寺	増田	邦雄
神奈川県一	米倉寺	鳥澤	芳宏	千葉県	福聚院	安田	哲雄	静岡県四	長興寺	森田	和久
神奈川県一	東泉院	岸	清志	千葉県	正因寺	松本	俊英	静岡県四	竜谷寺	伊藤	芳夫
神奈川県一	福昌院	平賀	康雄	千葉県	金光寺	松本	俊幸	静岡県四	松岳院	菅岡	賢司
神奈川県一	善栄寺	栄	宏道	千葉県	東善寺	堀内	正樹	静岡県四	岩松寺	鈴木	正雄
神奈川県一	万徳寺	横山	正彦	山梨県	永昌院	伊藤	信弘	静岡県一	延寿寺	岩田	晴康
神奈川県一	東泉寺	上形	卓道	山梨県	瑞竜寺	浅井	宗芳	静岡県一	松林寺	平松	梅苗
神奈川県一	松岳院	北川	久憲	静岡県一	洞慶院	丹羽	鉄山	静岡県一	薬師寺	鈴木	泰俊
神奈川県一	雲林寺	北見	秀明	静岡県一	見性寺	大賀	泰定	静岡県一	松月寺	富尾	智恵
神奈川県一	良長院	岡田	道生	静岡県一	竜興寺	大賀	溪生	静岡県一	薬師寺	丹羽	恵順
神奈川県一	宗昌寺	三留	善浄	静岡県一	十輪寺	菊地	博英	静岡県一	亀翁寺	丹羽	恵順
神奈川県一	正泉寺	西岡	邦全	静岡県一	福聚院	青野	之映	静岡県一	禅源寺	光岡	禅道
神奈川県一	広沢寺	和田	明弘	静岡県一	松岳寺	半田	興宣	静岡県一	庚申寺	塩谷	晴禅
埼玉県一	西福寺	飯田	洪一	静岡県一	旭伝院	田中	慶道	静岡県一	竜徳院	白井	俊道
埼玉県一	宝積寺	中村	宗法	静岡県一	静居寺	古川	義雄	静岡県一	楽法寺	河合	栄寿
埼玉県一	保泉寺	川島	妙善	静岡県一	貞善院	木南	広郁	静岡県一	海蔵寺	松下	大峰
埼玉県一	薬師寺	福田	竜倫	静岡県一	泉竜寺	長尾	明孝	静岡県一	西湖院	小原	伯淳
埼玉県一	御影堂	和田	隆文	静岡県一	龍国寺	岡村	重法	静岡県二	玄猷寺	星野	道雄
埼玉県一	永源寺	五十嵐	謙順	静岡県一	大徳寺	徳月	弘泰	静岡県二	竜雲院	溝口	和光
埼玉県一	長泉寺	日尾野	良弘	静岡県一	蔵春院	山田	元晶	静岡県二	宝珠院	野倉	鐵雄
埼玉県一	光明寺	宇田川	淳一	静岡県一	洞泉院	浅野	博英	静岡県二	報恩寺	新美	忍雄
埼玉県一	広見寺	中井	隆吾	静岡県一	東向寺	杉本	太完	静岡県二	永昌寺	片山	健城
埼玉県一	大通院	町田	大謙	静岡県一	大安寺	大沢	光邦	静岡県二	竜江寺	田中	一晃
群馬県	向雲寺	山内	謹三	静岡県一	佛源寺	澤城	勲生	静岡県二	常福寺	渡辺	祥元
群馬県	大雲寺	仁科	清信	静岡県一	吉祥院	田代	俊光	静岡県二	長沢寺	山田	邦博

愛知県三	欽喜院	鈴木	嚴大	廣島県	医光寺	森藤	文定	宮崎県	法泉寺	甲斐	史朗
岐阜県	智照院	宮崎	雄豊	広島県	無量寺	廣澤	元生	宮崎県	観音寺	久我	経二
岐阜県	玄霜寺	加藤	大心	山口県	大昌寺	河村	剛俊	長野県一	薬師寺	青木	悦定
岐阜県	開元院	逸見	智保	山口県	安国寺	本多	知隆	長野県一	竜泉寺	心永	孝瑞
岐阜県	宝林寺	西尾	仙英	山口県	直指院	大坪	仙定	長野県一	善心寺	和田	昭全
岐阜県	円通寺	森	和久	山口県	籌勝院	藤川	俊道	長野県一	岩松院	渡辺	照慈
岐阜県	東円寺	松山	進昭	山口県	昌福寺	宮本	典道	長野県一	光徳寺	宇佐美	正光
岐阜県	宗久寺	松本	英雄	山口県	太用寺	守永	徹道	長野県一	泉洞寺	桜井	朝教
岐阜県	素玄寺	三塚	大法	鳥取県	大樹寺	鎌谷	龍心	長野県一	興竜寺	洞派	魁信
三重県一	専行寺	菅沼	恵苗	鳥取県	大竜院	野村	和廣	長野県一	阿弥陀院	吉田	賢妙
三重県一	徳蓮院	井村	道弘	鳥取県	興宗寺	山下	浩雄	長野県一	廣澤	廣澤	智孝
三重県一	観音寺	大野	芳倫	鳥取県	桂養寺	福井	克彦	長野県一	長桂寺	内藤	英昭
三重県一	広泰寺	青山	弘道	鳥取県	般若寺	伊東	暁天	長野県一	宗福寺	千田	実雄
三重県一	西光寺	福島	實雄	鳥取県	龍福寺	飯田	正明	長野県一	寂照庵	梅田	光洋
三重県一	徳林寺	佐川	龍弘	鳥取県一	永太院	村上	勝道	長野県一	林叟院	平島	康秀
三重県一	光明寺	山口	碩永	鳥取県一	正法寺	門脇	利法	長野県一	松林寺	金松	孝道
三重県一	竜光寺	木田	泰宏	鳥取県二	清光院	広江	尚道	福井県	靈山院	刀根	道孝
滋賀県	戒琳庵	金澤	明光	鳥取県二	竜覚寺	佐藤	宗紹	福井県	金伝寺	桜谷	祖光
滋賀県	徳円寺	栗谷	貫明	鳥取県一	法恩寺	永田	仁三	福井県	長久寺	西川	春光
滋賀県	林慶寺	宮川	哲洲	鳥取県二	円光寺	石川	正雄	福井県	松月寺	柳本	妙信
京都府	西福寺	吉川	憲隆	鳥根県一	十満寺	欽峰	芳督	福井県	法栄寺	水野	徳司
京都府	東寓寺	豊本	英仲	高知県・香川県	善賢寺	上田	秀人	福井県	久音寺	玉井	泰栄
京都府	長楽寺	野口	義友	愛媛県	昌福寺	村上	道雄	富山県	戀昌寺	園田	光昌
京都府	長川寺	平沢	道輝	愛媛県	瑞林寺	土居	孝童	富山県	円通寺	太田	仙岳
京都府	清絃寺	浜島	義邦	愛媛県	宗光寺	岡	芳雄	富山県	円通寺	渡辺	良順
京都府	永久院	田中	黙修	愛媛県	泰平寺	星野	尚禅	富山県	禅定寺	荒瀬	喜山
京都府	正徳院	今村	隆之	福岡県	大法寺	東田	紀元	新潟県一	宗慶寺	近藤	博道
京都府	万願寺	高橋	修憲	福岡県	梅岳寺	小早川	義典	新潟県一	耕隆庵	大谷	文英
大阪府	慈恩寺	吉川	信隆	福岡県	天徳寺	溝口	清徹	新潟県一	妙喜寺	室賀	静英
大阪府	妙法寺	島田	浄圓	福岡県	慈眼寺	平川	俊道	新潟県一	竜源寺	桑原	行弘
大阪府	拾翠寺	安土	慈芳	福岡県	常楽寺	信行	雪鴻	新潟県一	観音庵	駒形	正美
奈良県	観音寺	田中	岩念	福岡県	松源寺	中野	徳満	新潟県一	薬師庵	伊藤	悦道
奈良県	天照寺	浅井	真澄	福岡県	千栄寺	江越	博道	新潟県一	昌禅寺	大崎	道隆
和歌山県	祐川寺	丹羽	達宗	大分県	大雄寺	本多	敏男	新潟県二	清月寺	小柳	志徹
兵庫県一	楊林寺	西村	眞典	長崎県一	天初院	山口	俊哉	新潟県二	松月院	荒川	好俊
兵庫県一	昌林寺	高辻	秀明	長崎県一	小島寺	岩田	正人	新潟県四	養広寺	乙川	良介
兵庫県一	蓮光院	奈良	精才	長崎県一	東蓮寺	西村	喜侯	新潟県四	長安寺	栗橋	隆禅
兵庫県一	円成寺	不破	弘文	長崎県三	瑞雲寺	塚本	弘光	新潟県四	正法寺	飛田	野哲州
兵庫県一	徳本寺	景安	良貞	佐賀県	高源院	加藤	元章	新潟県四	柏樹寺	松村	賢道
兵庫県一	宝光寺	樋口	正明	佐賀県	光福寺	荒木	正昭	福島県	龍鳳寺	寺島	彦宗
岡山県	西来寺	松永	哲也	熊本県一	報恩寺	井上	泰幸	宮城県	慈恩寺	白井	俊明
広島県	重楽寺	小早川	憲章	熊本県二	地蔵院	久我	章稔	宮城県	秀麓齋	長澤	信幸
広島県	瑞円寺	森藤	正淳	宮崎県	法明寺	久我	章稔	宮城県	耕竜寺	清水	正範

詠範表彰

東京都	宗保院	鬼頭 圭子	群馬県	鳳仙寺	坪井みはと	静岡県一	常安寺	大島 里子
東京都	蓮生寺	鬼頭 京子	群馬県	祥雲寺	正和 節子	静岡県一	宝寿院	樽林 文子
神奈川県一	泰翁寺	柿沼 雪枝	群馬県	大雄院	橋本 光子	静岡県一	帝釈寺	山口 昭子
神奈川県一	大用寺	船越廿工子	群馬県	泉竜院	大沢アイ子	静岡県一	宗徳院	松永 道代
神奈川県一	潮音寺	安藤 美子	群馬県	慶徳寺	軽部 玉子	静岡県一	円通寺	関 元子
神奈川県一	英潮院	坪井佐和子	群馬県	松岸寺	横川とし子	静岡県一	永明寺	加藤 きよ
神奈川県一	大長寺	大森 珠子	栃木県	本光寺	高田 節子	静岡県一	福泉寺	岩佐 清代
神奈川県一	光永寺	荒原富美子	栃木県	竜雲寺	田口 陽子	静岡県一	盤脚院	山田美智子
神奈川県二	松岳院	北川 脩子	栃木県	東陽院	藤村 和子	静岡県一	向善寺	伊村美祢子
神奈川県二	大善寺	大野 裕子	千葉県	新福寺	小林志ずか	静岡県一	利勝院	久保寺信子
神奈川県二	龍昌院	大津 たき	千葉県	宝林寺	千葉 宣子	静岡県一	心岳寺	鈴木あさ子
埼玉県一	幸福寺	石澤 博美	山梨県	真高寺	渡辺八重子	静岡県一	快林寺	五藤 多枝
埼玉県一	芳林寺	小田原恭子	山梨県	棲月院	白井由紀子	静岡県一	盤石寺	梶田 和子
埼玉県一	光秀寺	河津 和子	山梨県	長生寺	山本 田鶴	静岡県一	安養寺	青島 美苗
埼玉県一	福蔵寺	関根 紀恵	山梨県	普門寺	山崎 昭子	静岡県一	桃原寺	増田 節子
埼玉県一	千手院	山本美佐枝	山梨県	深泉院	畑中喜久子	静岡県一	貞心寺	坂本富士子
埼玉県一	全竜寺	田中 玉恵	山梨県	保寿院	小宮山由利江	静岡県一	宗清寺	大嶽 てつ
埼玉県一	祥雲寺	村松子八ヤ	山梨県	用津院	野出 好子	静岡県二	医王寺	鈴木 淑子
埼玉県一	東光寺	千代田繁葉	山梨県	蔵前院	遠山 アキ	静岡県二	大福寺	鈴木 信子
埼玉県一	光明寺	石塚 はな	静岡県一	法蔵寺	浅井 やゑ	静岡県三	大福寺	清水 昭代
		中井 芳子	静岡県一	竜津寺			大福寺	石黒しずゑ

宮城県	長照院	大宮 典昭	山形県一	楊柳寺	森岡 憲宗	秋田県	金浦寺	佐藤 慈明
宮城県	積雲寺	花山 信悦	山形県一	永林寺	塚本 旦道	秋田県	温泉寺	佐藤 舜英
宮城県	眞源寺	城山 博司	山形県一	光源寺	児珠 孝順	秋田県	全応寺	佐藤 仁鳳
宮城県	東光寺	武者 宥道	山形県一	永源寺	坂部 晃宗	北海道一	高岸寺	大瀧 良孝
宮城県	津龍院	小野寺尚弘	山形県一	正源寺	鮭延 大宣	北海道一	禅昌寺	田中 昭三
宮城県	福現寺	犬飼 良孝	山形県二	高德寺	嶋津 泰雄	北海道一	円通寺	庭野 慧芳
宮城県	鳳仙寺	坂野 文則	山形県二	洞泉寺	加藤 大信	北海道一	大慈寺	大徳 道賢
岩手県	淵龍寺	砂越 舜道	山形県一	昭明寺	星 良雲	北海道一	千走寺	村上 誠一
岩手県	永明寺	上野 昌孝	山形県二	洞春寺	石井 成典	北海道一	玉峰寺	清水 寛之
岩手県	喜清院	千代川祖豊	山形県三	曹源寺	長谷川伸悠	北海道一	願王寺	清水 寛之
岩手県	善勝寺	葛 修一	山形県三	法秀寺	五十嵐隆道	北海道一	高台寺	長谷川洪徳
岩手県	三光寺	高山 敬心	山形県三	光星寺	前田 照雄	北海道一	菩提寺	岩井 清淳
岩手県	長円寺	藤岡 龍山	山形県三	乘慶寺	阿部 伸世	北海道一	大玄寺	横山 信雄
岩手県	保福寺	山口 義博	山形県三	福田寺	百瀬 凡隆	北海道一	大雄寺	瀧本 幸朗
青森県	長円寺	清野 昌邦	山形県三	延命寺	宮崎 弘行	北海道一	永泰寺	渡辺 興宗
青森県	高沢寺	松宮 義孝	山形県二	西方寺	高橋 知宗	北海道一	良興寺	半澤 良爾
青森県	見性寺	溝口 和孝	山形県二	泉流寺	佐藤 道機	北海道二	天総寺	谷 暁雲
青森県	海昌寺	石岡 智道	秋田県	正法院	清水 忠道	北海道二	慈福寺	遠藤 信教
青森県	常光寺	西村 正純	秋田県	太平寺	龜谷 健樹	北海道二	大沢寺	佐藤 哲仙
青森県	心月寺	石田 大禅	秋田県	相川寺	丹生 純雄	北海道三		



静冈県三	崇信寺	山本由利子	和歌山県	海蔵寺	高橋 道子	長野県一	栽松院	山口 悦子
静冈県三	投老寺	水野美枝子	兵庫県一	慈眼寺	山田 和子	長野県一	天周院	黒柳 愛子
静冈県三	成因寺	梶川 治世	兵庫県一	永泰寺	荒山他美子	長野県一	宝昌寺	藤本 君子
静冈県三	永竜寺	大塚 千晴	兵庫県一	正覚寺	岡本 典子	長野県一	大徳寺	畔上勢津子
愛知県一	秋月院	近藤千枝子	兵庫県一	長楽寺	長山 長美	長野県一	盛隆寺	吉川モト子
愛知県一	天聖寺	福嶋 敏子	兵庫県一	昌福寺	北浦美枝子	長野県一	長興寺	牧野てるよ
愛知県一	西来寺	横井志奈子	兵庫県一	小林寺	飯田 篤子	長野県一	瑞松寺	茅野三代子
愛知県一	法輪寺	江口千代子	兵庫県一	大膳寺	谷垣佐屋子	長野県一	常秀院	吉江 葉
愛知県一	地藏寺	神野 清子	兵庫県二	也足寺	吉田 妙子	長野県一	真常寺	寺沢 薫
愛知県一	祥雲寺	篠原 昌子	兵庫県二	宗蓮寺	豊島恵美子	長野県一	雞足院	原 高子
愛知県一	長全寺	岡田 温子	兵庫県二	福泉寺	仲江世津子	長野県一	雲竜寺	溝口きみ江
愛知県一	海蔵寺	松下 きよ	兵庫県二	曹源寺	松下三保子	福井県	芳春寺	永井 敦子
愛知県三	宝珠寺	林 香久子	岡山県	大林寺	清涼 教江	福井県	浄林寺	四本木三工
愛知県三	玄猶寺	星野やすゑ	広島県	伝福寺	鈴木 七廿	福井県	向陽寺	百田知代子
愛知県三	本覚寺	都築八重子	広島県	天寧寺	小形 安子	福井県	長継寺	山上 敬子
愛知県三	東光寺	中村佳世子	広島県	福善寺	桐尾 鳴恵	福井県	吉祥院	内山 敏子
愛知県三	医王寺	服部 清美	広島県	無量寺	広沢 綾子	福井県	空印寺	岸本 満子
愛知県三	歓喜院	鈴木はつえ	広島県	寿福寺	田中以佐織	富山県	清源寺	川越 キミ
岐阜県	広福寺	紀藤 嗣子	山口県	俊竜寺	梅田 睦江	新潟県一	瑞泉寺	菊地 吉野
岐阜県	普賢寺	水野 益恵	山口県	瑞松庵	藤村美恵子	新潟県一	潮音寺	榎 悦子
岐阜県	弘福寺	堀 琴子	山口県	月輪寺	中村 一枝	新潟県一	法音寺	飯田 静子
岐阜県	天長寺	森 澄江	島根県一	永福寺	増見 琴枝	新潟県一	興源寺	田宮 絢子
岐阜県	素玄寺	三塚千寿代	島根県二	安養寺	村上 哲子	新潟県一	宝光院	飯田 静子
三重県一	神宮寺	西村 節子	島根県二	桐岳寺	大野 志保	新潟県一	太運寺	古川 春枝
三重県一	地藏寺	伊藤 正枝	島根県二	幸福寺	西尾 由子	新潟県二	観音寺	日馬七子
三重県一	阿弥陀寺	小出 敦子	島根県二	晋叟寺	安田 康子	新潟県二	太岩寺	市村サチ子
三重県一	祥雲寺	高橋ますみ	徳島県	洞雲寺	湊 保子	新潟県三	福蔵院	栗林 悦子
滋賀県	円成寺	東方 全子	愛媛県	掌禅寺	内藤 卓子	新潟県四	宗賢寺	佐藤 君子
滋賀県	願成寺	松尾 ヨヲ	愛媛県	泰平寺	星野 節子	新潟県四	千昌寺	佐藤 敏子
滋賀県	願王寺	安田美千子	福岡県	吉祥寺	谷山喜満代	新潟県四	宝泉寺	小柳 光子
滋賀県	善勝寺	杉原 芳江	福岡県	聖種寺	藤崎 浄子	新潟県四	観音寺	稲垣 久子
京都府	曹沢寺	佐藤英佐子	福岡県	梅岳寺	小早川千鶴子	新潟県四	永泉寺	深井 淑
京都府	医昌寺	山口 栄子	福岡県	禅覚寺	楠 暢子	新潟県四	法正寺	曾根 美子
京都府	竜心寺	長澤やへの	福岡県	観音寺	三好 幸	新潟県四	瑞泉寺	嶽岡 春恵
京都府	正眼寺	四方 静野	福岡県	千光寺	持地 恒美	新潟県四	常楽寺	工藤 キク
京都府	善光寺	大山 高子	福岡県	千栄寺	江越 信子	福岡県	金源寺	阿部 典
京都府	法心寺	山岡美智子	長崎県一	江東寺	寺田 士数	福岡県	仙林寺	松田 輝子
京都府	光明寺	山崎 景子	長崎県一	円通寺	寺田七子	福岡県	洞雲寺	柳澤 みね
京都府	大林寺	田中ユキノ	福岡県	長徳寺	藤島 千代	福岡県	福源寺	岡本マス工
京都府	常徳寺	服部 文字	佐賀県	円心寺	西海 あき	福岡県	長禄寺	秋 ケサヨ
大阪府	印山寺	波多野アイ	佐賀県	東禅寺	竹内 キミ	福岡県	常在院	長谷川華澄
大阪府	安養寺	福原美佐子	佐賀県	医王寺	光山 良江	福岡県	天沢寺	新保 ツタ
奈良県	滝巖寺	河村美智子	佐賀県	広蔵寺	大宅千代子	福岡県	観照寺	三坂 ミキ
和歌山県	法伝寺	瀬戸 節子	宮崎県	願成寺	佐藤八洲子	福岡県	長慶寺	中野 君子



# 受賞の状

## 宗務庁推挙

### 感謝状



## 宗務所推挙

### 師範表彰



### 詠範表彰



### 師範表彰



### 詠範表彰



## 講長推挙

### 奨励表彰



### 教範表彰



### 梅花講表彰



### 年功表彰



## 褒状





五十周年に向け大会の企画や記念事業などについて、梅花講審議会ははじめ専門委員会や準備会などで研究、検討を重ねていただきました。それをさらに宗内の定められた諸手続きを経て、同議の決定により実施してまいりました。

大会では管長猥下ご親修の記念法要、不老閣猥下ご親修の高祖道元禅師七百五十回大遠忌法要を修行し、記念表彰や二日間で十二組の奉祝登壇を行った他、いくつかの新たな試みを行いました。

管長猥下には幼稚園の子どもたちとともに、「未来へのメッセージ」をご発表いただきました。各宗務所代表による仏旗・プラカード入場、百余名の師範登壇など、多くの皆さまにご出演ご荷担いただきました。各宗門関係中学・高等学校からは中間試験の期日を延期するなどして、吹奏楽や合唱の皆さんをご派遣いただきました。大会に華を添えて下さった散華の舞、献灯献華、そして駒澤大学吹奏楽部のステージドリルも、参加者の印象に残ったことと思います。

また、関東管区長老師、東京都、神奈川県第二、埼玉県第一の各宗務所長老師はじめ三宗務所管内の宗侶・寺族の方々、宗門各機関の各位には、大会配役に就いていただき、準備の段階から最後のお見送りまでご協力いただきました。全国からご参加の皆さまはもとより、多くの方々のお力添えによって大会を無事円成することができました。ありがとうございました。

道元禅師さま七百五十回大遠忌の年に、こうして梅花流創立五十周年という大きな節目に巡り会い、記念大会開催運営に関わらせていただくことができた幸せを心から感謝いたしております。

(编者・詠道課)

## 梅花流創立50周年 記念奉讃大会誌

発行/二 二年九月二十九日

発行者/大竹 明彦

発行所/曹洞宗宗務庁

〒一 五十八五四四

東京都港区芝二一五二一

電話 三十三四五四一五四一六

編集/伝道部詠道課

デザイン・写真/株エー・ディー・シー

印刷/株久栄社



梅花流創立五十周年記念奉讃大会

高祖道元禪師七百五十回大遠忌法要

## 回向

仰ぎ冀ぐは真慈俯して照鑑を垂れたまえ  
今年恭しく

高祖道元禪師七百五十回大遠忌の辰に値う

虔々香華燈燭湯菓茶珍饈を備え以て  
供養を伸ぶ謹んで梅花流全国奉詠

大会参加者同音に

摩訶般若波羅蜜多心經を諷誦し

誦讚歌を奉詠す集むる所の殊勲は

道元大和尚禪師 古風を慕われし

一生の行跡を讃仰し奉り

恭しく太祖瑩山禪師を懇請し 以て

上慈恩に酬いんことを 伏して願わくは

慈悲のみ光いよよ鮮やかに輝き我等の  
修行に無限の力を与えたまわんことを



首 領 獎